

# 平成28年度活動状況報告

## 〔活動の概要〕

原子力事業所安全協力協定「平成28年度年間活動基本計画」に基づき、安全協力委員会の開催、活動推進幹事会の開催、自主保安に係る点検協力活動、安全教育に係る協力活動、情報交換に係る協力活動等を通じて、協定加盟事業所の施設の安全確保と従業員の資質の向上を図るとともに、安全意識の高揚に努めた。

また、通報訓練を主体とした総合訓練を行うとともに、東海ノア協定ホームページ、広報誌「東海ノア通信」を活用し、原子力事業所の安全に対する取り組みの紹介に努めた。

平成28年度に実施した主な活動は、次のとおりである。

## 1. 安全協力委員会の開催（2回）

### （1）第35回安全協力委員会

〔開催日〕 平成28年10月20日（木）

〔議 題〕

- 1) 第34回安全協力委員会議事録について
- 2) 平成28年度上期活動状況及び下期の活動計画について
- 3) 協定加盟事業所の近況について
- 4) その他



第35回 安全協力委員会

### （2）第36回安全協力委員会

〔開催日〕 平成29年3月24日（金）

〔議 題〕

- 1) 第35回安全協力委員会議事録について
- 2) 平成28年度活動状況報告について
- 3) 平成29年度活動基本計画（案）について
- 4) 緊急事態協力活動要領等の一部改正について
- 5) 協定加盟事業所の近況について
- 6) その他



第36回 安全協力委員会

## 2. 活動推進幹事会の開催（4回）

### （1）第75回活動推進幹事会

〔開催日〕 平成28年6月16日（木）

〔議 題〕

- 1) 第74回活動推進幹事会議事録について
- 2) 原子力事業所安全協力協定役員等の変更について
- 3) 平成28年度 第1回自主保安点検協力活動計画について



第75回 幹事会の様子

- 4) 平成28年度 第1回安全教育研修計画について
- 5) 平成28年度 原子力事業所自衛消防隊研修会計画について
- 6) 平成28年度 総合訓練実施計画について
- 7) 東海ノア通信 第64号の発行について
- 8) その他

(2) 第76回活動推進幹事会

〔開催日〕 平成28年9月29日(木)

〔議題〕

- 1) 第75回活動推進幹事会議事録について
- 2) 原子力事業所安全協力協定委員等の変更について
- 3) 平成28年度 自主保安に係る点検協力活動について
- 4) 平成28年度 安全教育に係る協力活動について
- 5) 平成28年度 情報等の交換に係る協力活動について
- 6) 平成28年度 緊急事態を想定した協力活動訓練について
- 7) 平成28年度 上期活動状況及び下期活動計画について
- 8) 東海ノア通信第65号の発行について
- 9) その他



第76回 幹事会の様子

(3) 第77回活動推進幹事会

〔開催日〕 平成28年12月14日(水)

〔議題〕

- 1) 第76回活動推進幹事会議事録について
- 2) 平成28年度自主保安に係る点検協力活動について
- 3) 平成28年度安全教育に係る協力活動について
- 4) 平成28年度情報等の交換に係る協力活動について
- 5) 東海ノア通信第66号の発行について
- 6) その他



第77回 活動推進幹事会

(4) 第78回活動推進幹事会

〔開催日〕 平成29年3月10日(金)

〔議題〕

- 1) 第77回活動推進幹事会議事録について
- 2) 平成28年度活動状況報告(案)について
- 3) 平成29年度年間活動基本計画(案)について
- 4) 緊急事態協力活動要領等の一部改正について
- 5) 東海ノア通信第67号の発行について
- 6) その他



第78回 活動推進幹事会

### 3. 自主保安に係る点検協力活動

点検対象事業所における自主保安活動状況について、第三者の立場から点検を実施し、点検対象事業所における保安活動の向上に役立てるとともに、他加盟事業所に紹介することにより全体の自主保安管理の向上を図るため、自主保安点検協力活動を実施した。

#### (1) 平成28年度 第1回

〔実施日〕 平成28年7月28日（木）

〔対象事業所〕 日本原子力研究開発機構 大洗研究開発センター（JMTR施設）

〔点検協力実施者〕

- ・日本原子力発電株式会社 東海事業本部 東海発電所・東海第二発電所
- ・三菱マテリアル株式会社 那珂エネルギー開発研究所
- ・株式会社ジェー・シー・オー 東海事業所

〔活動の概要〕

点検活動は、現場巡視確認及び点検シートに基づいた質疑・応答形式で進められ、質疑・応答の中では、

- ① 安全確保のための基本的考え方と方策
- ② 安全文化醸成活動の具体的な取組み

等についての意見交換を行い、考え方や取組み状況等を確認した。

点検実施協力者からの自主保安点検活動結果として、「安全確保を最優先に、現場を重視した保安活動や経営層と現場のコミュニケーションの推進、安全作業ハンドブックの配備など、所員一人ひとりが業務に関する法令やルールを遵守し、現場目線で活動に取り組んでいる。」「現場の4S活動がしっかり行われている。」「作業責任者の資格認定制度が設定され、保安立会者及び現場責任者への教育・訓練が徹底されている。」などの意見があった。



点検協力活動の様子

#### (2) 平成28年度 第2回

〔実施日〕 平成28年11月24日（木）

〔対象事業所〕 積水メディカル株式会社 創薬支援事業部創薬支援センター

〔点検協力実施者〕

- ・東京大学大学院 工学系研究科原子力専攻
- ・量子科学研究開発機構 那珂核融合研究所
- ・住友金属鉱山株式会社 経営企画グループ事業管理室技術センター

〔活動の概要〕

点検活動は、現場巡視確認及び点検シートに基づいた質疑・応答形式で進められた。質疑・応答の中では、

- ① 安全確保のための基本的考え方
- ② 安全文化醸成活動の具体的な取組み

等についての意見交換を行い、考え方や取組み状況等を確認した。



点検協力活動の様子

点検協力実施者からは、「事業所内は、管理区域内を含め全体に整理整頓されており、5Sが徹底され非常にきれいである」との感想の他、改善点ではないが、RIに係る規制等は年々厳しくなっているため、放射性廃棄物管理に係る考え方を整理された方が良いとの意見があった。

#### 4. 安全教育に係る協力活動

##### (1) 安全教育研修

協定加盟事業所の研修施設を活用して、協定加盟事業所従業員等の資質向上を図るための教育研修について、参加者を募り実施した。

##### 1) 平成28年度 第1回

〔開催日〕 平成28年10月4日（火）

〔場 所〕 原子力機構 原子力人材育成センター

〔参加者〕 28名／10事業所

〔講 師〕 原子力機構 原子力人材育成センター講師

〔研修カリキュラム〕

- （講義） ①三次元核図表  
②放射性物質のいろいろな性質  
③放射線防護の基礎
- （実習） ①各種放射線の測定



講義・実習の様子

研修後に実施したアンケートからは、三次元核図表については、「専門的過ぎる」との回答があった一方、「難しさもあるが、ブロックや星を用いた解説に理解を深める事ができた。」との意見もあった。測定実習は、実際に体験する機会が殆どなく有意義であった。受講者から講義、実習とも好感想を頂いた。

##### 2) 平成28年度 第2回

〔開催日〕 平成29年2月1日（水）

〔場 所〕 日本原子力発電 東海総合研修センター

〔参加者〕 9名／4事業所

〔講 師〕 日本原子力発電 東海総合研修センター講師

日本原子力発電 東海・東海第二発電所 渉外・報道グループ課長

〔研修カリキュラム〕

- （講話） 東海第二発電所の近況について  
（東海発電所の概要）
- （実習） ①身の周りの放射線測定体験  
②シミュレータによる運転体験

(見学) 東海第二発電所フルスコープシミュレータ



身の周りの放射線測定体験



シミュレータによる運転体験

研修後に実施したアンケートでは、原電の近況に関して、東海第二発電所の安全対策の取り組み状況や廃止措置の状況について知ることが出来た。また、放射線測定実習については、身近にあるものを実際に測定できて良かったとの意見もあったが、測定した値の評価等説明が欲しかったとの意見もあった。

シミュレータ運転体験については、一部専門的過ぎるとの意見もあったが、説明がとても分かり易かった、3.11 の体験が出来て良かった等の好感想を頂いた。

(2) 講演会・講習会

協定加盟事業所が開催する講演会のうち公開可能な講演会について、加盟事業所への開催案内を行い、他事業所からの聴講者を募り実施した。

1) 原子力機構 原子力科学研究所 安全講演会

〔開催日〕 平成28年7月21日(木)

〔演題〕 「化学物質の安全な取り扱いについて」

講師 ビッグ情報株式会社(元旭化成所属)  
(工学博士)山松 節男氏

〔参加者〕 11名/5事業所(全参加者数131名)



講演会の様子

2) 原子力機構 大洗研究開発センター メンタルヘルスセミナー

〔開催日〕 平成28年10月5日(水)

〔場所〕 原子力機構 大洗研究開発センター 安全情報交流棟研修ホール

〔演題〕 「快適な職業生活のためのメンタルタフネス  
を身につけよう！」

講師 産業カウンセラー 大野 萌子氏

〔参加者〕 1名(全参加者数109名)



講演会の様子

3) 原子力機構 原子力科学研究所 防火・防災講演会

〔開催日〕 平成28年10月12日(水)

〔場所〕 原子力機構 原子力科学研究所 大講堂

〔演題〕 「防災意識の醸成 災害に備えた取り組み、  
危機管理等」

講師 防災システム研究所所長 山村 武彦氏



講演会の様子

〔参加者〕 8名／7事業所（全参加者数256名）

### （3）自衛消防隊研修

茨城県、茨城県立消防学校、立地市町村消防本部の協力を得て、協定加盟事業所の自衛消防隊員対象にした消防研修を実施した。

〔開催日〕 平成28年9月7日（水）

〔場 所〕 茨城県立消防学校

〔参加者〕 24名／13事業所



座学



実動訓練



総合訓練

研修当日は、台風の影響で豪雨となったが、総合訓練を開始するまでに雨も上がり、予定した訓練内容は全て終了することができた。

最後に実施したアンケートでは、実動・総合訓練については専門的過ぎるとの少数意見もありましたが、多くの参加者からは、訓練は全体的に適当であり良い経験となった、有意義な訓練であった等意見とともに引き続きの開催を望む回答を頂いた。

また、広報活動として、事前に県政記者クラブに開催案内の資料提供と茨城新聞社を訪問しての開催（取材）案内を行った。当日の取材は、NHK水戸放送局1社であったが、夕方のいばらきニュース並びにNHKホームページへの記事掲載があり、東海ノア活動の自衛消防隊活動に関する良好事例をPRすることができた。

## 5. 情報交換等に係る協力活動

### （1）事故、トラブル情報

協定加盟事業所等より提供いただいた情報については、年間活動基本計画「情報交換に係る協力活動」に基づき、協定加盟全事業所に配信した。

#### 1) プレス発表された事故、トラブル情報

事業所	事象発生日	件名
日本原子力発電株式会社	平成28年7月25日	東海第二発電所管理区域内での放射性廃液の漏れ（原因と対策）

### （2）緊急時を想定した訓練に係る情報

#### 1) 視察可能な総合訓練に係る情報

①原子力機構 大洗研究開発センター 平成28年度 総合訓練見学会

〔開催日〕 平成29年1月25日（水）

〔事故想定〕

茨城県沖を震源とする地震（予震）（大洗町・鉾田市震度4）発生、原子炉施設の附属建家機械室（非管理区域）の電源盤から火災発生。その後、大規模地震（本震）（大洗町・鉾田市震度6弱）発生、大洗研究開発センター内複数施設が同時被災、送電線に被害が生じて商用電源が全喪失したが、非常用電源系統は正常に起動したと仮定。訓練対象施設「燃料研究棟」では放射性物質の異常放出、また、「材料試験炉」機械室電源盤での火災に伴う消火活動ならびに負傷者の救出及び身体汚染に伴う緊急被ばく医療等を想定して訓練を実施。

〔見学参加者〕 3名／1事業所



現地対策本部



プレス対応訓練



## 6. 緊急事態を想定した協力活動

東海ノア協定に基づく平成28年度の通報連絡を主体とした総合訓練は、茨城県通報訓練に連動して、8月9日（火）、公益財団法人核物質管理センター東海保障措置センターを発災場所として実施した。今回の訓練は、昨年と同様、通報連絡網の確認を実施し、訓練全体を通して混乱も無く、良好であると評価できる結果を得ることができた。

## 7. その他

(1) 平成28年度 茨城県通報連絡訓練実施状況集計結果  
平成28年9月15日配信

(2) 緊急被ばく医療関連情報連絡会参加

1) 原子力事業所見学会（医療処置訓練見学会）

〔開催日〕 平成28年11月22日（火）

〔事業所〕 東北大学金属材料研究所附属量子エネルギー材料科学  
国際研究センター（発災想定場所）  
大洗海岸病院（医療機関）

〔参加者〕 18名／6事業所（応急処置訓練・医療措置訓練）



東北大学金属材料研究所



大洗海岸病院

(2) 原子力事業所見学会（作業環境視察）

- 〔開催日〕 平成29年1月18日（水）及び24日（火）  
〔施設〕 量子科学技術研究開発機構 那珂核融合研究所  
〔参加者〕 18日：9名／5事業所、24日：7名／4事業所



那珂核融合研究所見学の様子

(3) 緊急被ばく医療関連情報会講演

- 〔開催日〕 平成29年2月22日（水）  
〔場所〕 いばらき量子ビーム研究センター 東海村研究交流プラザ  
〔演題〕 「新たな被ばく医療体制における取組み  
～ベストプラクティスを目指して～」  
〔講師〕 長崎大学大学院保健学医歯薬学総合研究科 看護学講座  
長崎大学原子力災害対策戦略本部 高度被ばく医療支援  
センター 連絡調整部門副部門長 福島 芳子 氏  
〔参加者〕 10名／6事業所



講演会の様子

8. 広報活動

(1) 広報誌「東海ノア通信」の発行

協定加盟事業所との情報交換、共有化を目的に、協定広報誌「東海ノア通信」の定期発行（1回／3カ月）を行った。

- ① 第64号の発行（平成28年6月30日）
- ② 第65号の発行（平成28年9月30日）
- ③ 第66号の発行（平成28年12月26日）
- ④ 第67号の発行（平成29年3月30日）

(2) ホームページの維持管理

ホームページ情報の維持管理に努め、東海ノア協定に基づく活動状況を適宜紹介した。

1) ホームページの更新

- ①平成28年6月30日
- ②平成28年9月30日
- ③平成28年12月26日
- ④平成29年3月30日

以上

平成28年度 年間活動基本計画実績表（原子力事業所安全協定運営要項第2条第1項に基づく）

	平成28年						平成29年					
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1. 安全協力委員会							第35回 ▲10/20					第36回 ▲3/24
2. 活動推進幹事会			第75回 ▲6/16			第76回 ▲9/29			第77回 ▲12/14			第78回 ▲3/10
3. 自主保安に係る点検協力活動				▲7/28 第1回					▲11/24 第2回			
4. 安全教育に係る協力活動												
(1) 安全教育研修							第1回 原子力機構 人材育成センター ▲10/4			第2回 原電 東海総合研修センター ▲2/1		
(2) 講演会・講習会				▲7/21 原科研			▲10/5 大洗研 ▲10/12 原科研					
(3) 自衛消防隊研修	実施時期・方法等調整／企画検討 事前打合せ					▲9/7 自衛消防隊研修 (消防学校)						
5. 情報等の交換に係る協力活動				▲7/25 トラブル情報						▲1/25 大洗研訓練見学		
6. 緊急事態を想定した協力活動												
(1) 訓練				▲8/9 ノア総合訓練（通報訓練） (茨城県通報連絡訓練に合わせて実施)								
(2) 協力体制の整備 (組織・施設情報含む)	随時見直し・整備											
7. その他 (県等からの協力依頼)				茨城県無通告通報訓練 期間 7/11 ~ 9/18 (実績 7/15 ~ 9/15)			▲9/15 通報訓練集計結果配信		▲11/22 医療処置訓練見学会		▲1/18 事業所見学会 ▲1/24 事業所見学会 ▲2/22 連絡会	
8. 広報活動												
(1) 「東海ノア通信」の発行			第64号 ▲6/30			第65号 ▲9/30			第66号 ▲12/26			第67号 3/30▲
(2) ホームページの運営			▲6/30			▲9/30			▲12/26			3/30▲